

# 生き物文化誌学会・先住民例会開催ご案内

**\* 今回の例会は会場およびオンライン参加の併用とします。 \***

テーマ：『生き物と先住民』

日時：2020年10月31日（土）13:00～16:30

例会会場：国立民族学博物館（民博）2階・第5セミナー室 および オンライン

住所：〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1 <https://www.minpaku.ac.jp/>

電話：06-6876-2151（代表）

\* 当日 11:00～11:30 まで、国立民族学博物館特別展示館にて、特別展示・「先住民の宝」の見学をおこない、一部の展示解説をおこないます。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

内容：2020年7月12日、コロナ禍において北海道・白老町に国立アイヌ民族博物館を含む民族共生象徴空間（愛称：ウポポイ）がオープンしました。しかしながら、国内では先住民アイヌへの関心があまり高くはありません。今回の例会は、アイヌを含む先住民と生き物とのかかわり方をテーマにしています。各報告者が、多様な生き物と先住民とのかかわりについて自らのフィールドワークに基づいて探ります。

- \* オンライン接続、事前予約につきましては、後日詳細をお知らせいたします。
- \* 懇親会は開催いたしません。
- \* 展示場本館・特別展示館での見学は各自でお願いします。会場参加の方は、無料でご覧いただけます。
- \* 昼食会場用に講堂地下（くつろぎスペース）と特別展示館地下休憩所を開放しています。博物館と自然文化園内にはレストランもごございます。

……………<予定プログラム>……………

12:30 受付 場所：国立民族学博物館 2階  
13:00-13:10 開会挨拶・趣旨説明 池谷和信（国立民族学博物館）  
13:10-13:40 報告1 齋藤玲子（国立民族学博物館）  
（報告25分・質疑5分） 「アイヌ民族の植物利用：継承される知恵と技」（仮題）  
13:40-14:10 報告2 野林厚志（国立民族学博物館）  
「海の先住民の生業カレンダー：台湾タオ族の魚食とイモの利用」  
14:10-14:40 報告3 岸上伸啓（人間文化研究機構）  
「北アメリカ北西海岸先住民と生き物の不思議な関係：ワタリガラスを中心に」  
14:40-15:00 休憩  
15:00-15:20 報告4 池谷和信（国立民族学博物館）  
「キリンとラクダ：アフリカの先住民の世界」  
15:20-15:30 コメント 民族生物学の視点 秋道智彌（山梨県立富士山世界遺産センター）  
15:30-16:30 総合討論  
16:30 閉会

定員：30名（会場参加） および 70名（オンライン参加）

**参加申し込み**：別紙の参加申込書に必要事項を記入のうえ、10月15日までに e-mail, FAX  
または郵送にて例会実行委員会までお申し込みください。

\*お申し込みは会員であることが前提です。

参加費：会場およびオンラインの場合も、例会 1,500 円（未成年 500 円）

先住民例会用振込先（注：会社など団体から振り込まれる場合、必ず参加者名をご記入ください。）

<郵便局の振込用紙 または、ゆうちょ銀行から振込みの場合>

銀行名：ゆうちょ銀行

口座記号番号： 00980-2-334295 口座名称：生き物文化

<ゆうちょ銀行以外から振込みの場合>

店名 099 当座 0334295

**申込締切日**：10月15日（定員になり次第締め切らせていただきます。定員に達していた場合には、申し込み受け取り後、5日以内にご連絡いたします。）

**振込締切日**：10月20日（生き物文化誌学会の口座とは別です。口座番号にご注意ください。トラブルを避けるため、事前振込みをお願いします。）

連絡先：bio@minpaku.ac.jp Tel 06-7653-7277(不定期・主に月金) Fax 06-6878-7503

国立民族学博物館池谷研究室内 先住民例会事務局



主催：生き物文化誌学会 先住民例会実行委員会

協力：国立民族学博物館（北東アジア地域研究プロジェクト）